



むらさん

第14号

発行者

山形県立村山産業高等学校
PTA広報委員会

印刷

中央印刷(株)村山支店
TEL 0237(55)3700



二学期になり、知人からよく電話を頂くようになりました。内容は、本校生徒の様々な活動が新聞紙面やテレビを賑わせるようになったことです。本校生徒諸君は、それぞれが学んだ専門的知識・技術を活用し、様々な地域課題にチャレンジしてくれました。農業関係では、「高校生が描く明日の農業コンテスト」金賞や農業部の「芋煮をテーマにした研究」「和牛甲子園」のテレビ取材等々。工業関係では、「技能五輪出場」「高校生ロボコンテスト」等の各種大会での活躍、「リサ

イクル部品による消毒スタンド」等々、様々な「ものづくり」活動を。商業関係でも、国交省「水の郷の旅コンテスト」奨励賞、「GOTO村山スタンプラリー企画・運営」等々、地域の活性化に向けた様々な活動を展開しました。特に三年生はコロナ禍の中、本校での学習の集大成となる「ものにものづくり」ことづくりに実践し、地域社会からも高い評価を受けました。PTAの皆様には本校生徒のサポーターとして、これからも引き続きご支援いただきたいと思います。



「ものづくりから」へ
新聞等を賑わした村山産業生の活躍
校長 青柳晴雄



新しい生活様式の中で

PTA会長 布宮憲哉

日頃よりPTA活動に対し、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。今年、コロナ禍での学校生活となりました。機械科の生徒たちが手作りのフェイスシールド五十個を北村山公立病院に贈呈したり、野球部は開校以来初となるベスト16入りを果たしたり、テレビでも報道された和牛甲子園の様子など、コロナ禍での皆さんの活躍ぶりはとても素晴らしいものでした。そして、テレビや新聞等で数多く取り上げられた一年間

でした。様々な学校行事が中止・延期になり、思うようにはならない一年でしたが、皆さんの取り組みはとても頑張っていることが象徴的でした。これからも制約の多い学校生活にはなりますが、私たちPTA活動も生徒たちに負けないよう、先生方や保護者の皆様と協力し生徒を支えていけたらと思います。私たちPTAが生涯学習支援団体としてサポートしていきます。今年一年PTAへのご協力ありがとうございました。

1年間わ り返り 振



PTA副会長
柴崎 雅典

今年度は、私たち保護者にとっても、子供たちにとっても何をやるにもコロナ禍の影響を受け、全てが異例扱いで思うような活動、生活が出来ない日々が続き、そして今も続いている状況にあります。

そんな中、校長先生を始め先生方から特段のご配慮をいただいていることで、子供たちが何とか高校生活を送れていることに、保護者の一人として心より感謝申し上げます。

今後、子供たちには「こんな時だからこそできること、やりたいこと」を見つけ出し、後に振り返ってみてコロナ禍だから自分は成長できた、と言える高校生活が送れるように切に願っています。

Be Happy



PTA副会長
金子 一志

令和二年度の始まりは、コロナ禍による休校でした。感染を防ぐ為に、分散登校や学校内での生活の変化に、生徒や保護者、先生方も心をつきこにおいて毎日をごさきつと大変な思いだったと感じます。前半の様々な大会や行事の中止も秋口には、感染対策をした形で開催されるようになりました。

そんな中でも、生徒たちの活動がニュースや新聞に出ることが多く、農・工・商がそれぞれの強味を生かしつながら、この学校の良さであることに、この学校の良さであると思えます。今年の一年を考えた一年とし、来年は生かす一年と思いい、学校を支えるPTA活動にしたいです。



研修委員長 池田 順一

振り返ると、コロナ一色の一年間でした。

幸い大きな健康被害は出ていませんが、生徒の学校生活に大きな影響がありました。

昨年度からの休校に始まり、幾つかの大きな学校行事の中止と、父兄が参加出来る学校行事も中止になりました。そのため、子供の学生生活が記憶に残り難い、親としても寂しい一年となりました。

せめてもの親の願いとして、子供たちには今年経験したこの一連のコロナ禍を今後プラスに活かしてもらいたいです。常識は突然崩れる、が、そこから新しく、より良い常識を作り出すことを経験としてもらえるように。



広報委員長 阿相 好和

日頃よりPTA活動に対し、ご協力いただき、ありがとうございます。

今年度は新型コロナ感染拡大防止対策の為、学校行事・部活動・PTA各委員会が縮小されました。そんな限られた活動の中でも、各科・各部活での活躍は素晴らしいものでした。このコロナ禍だからこそ自分たちには何が出来るのか、と考え行動する力を養えたのではないのでしょうか。広報委員の皆様、担当してくださった先生方のご協力により、予定通り「むらさん」を発行することができましたことを感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



生活委員長 榎本 裕一

昨年から続くコロナ禍の為に、学校が一カ月以上休校となったり、学校行事・イベント等が中止だったり、縮小したの開催で生活委員会としての活動もなくなっていました。コロナウイルス感染拡大によって、以前とは全く違う生活に生徒も保護者も大変な思いをされたかと思えます。今は一日でも早くコロナウイルス感染拡大以前の生活に戻れるように願うばかりです。以前の生活に戻った時には、学校、生徒、保護者三位一体となって盛り上げてほしいと思います。今年一年委員長として何も出来ませんでした、委員のみなさまありがとうございました。



生徒会活動報告

前期生徒会役員

会長	3年4組	滝口 智稀
副会長	2年1組	板垣 青空
副会長	2年2組	柴田 梨奈
議長	3年3組	永岡 優都
副議長	2年2組	佐藤 幸亮

後期生徒会役員

会長	2年1組	安達 悠人
副会長	2年2組	柴田 梨奈
副会長	1年4組	土屋 昌大
議長	2年2組	佐藤 幸亮
議長	1年5組	山方姫華瑠

前期生徒会長 滝口 智稀

今年度はコロナウイルス感染拡大の影響を受け、様々な制限を受けた中での活動でした。しかし、このような状況でも、クラスマッチ村産展を開催することができ、生徒の皆さんや先生方のご協力のもと生徒会を中心とした感染予防対策を含めた準備、運営を円滑に行うことができました。活動は少なくなりましたが、今年度の生徒会活動にご協力いただき、本当にありがとうございました。

後期生徒会長 安達 悠人

私はこの学校の生徒会長として、生徒一人ひとりが主役になれる学校を目標とし学校づくりに取り組んでいきます。そのために校則の変更や組織の見直しといった大規模な改革が必要だと考えています。また、より多くの声を聞くために意見箱の増設を行います。現在も新型コロナウイルスの影響を受け生活を送っています。この状況下でも私たちは、学校を盛り上げていくため、今やるべきことに全力で取り組みます。今後ともよろしくお願ひします。



三年一組 赤塚 利紗

私たち農業科は新型コロナウイルスにより、新年度が始まっても実習ができない日々が続きました。しかし休校が明けた五月から私たち畜産班は、和牛甲子園に向け、景光（和牛の名前）の肥育に取り組みました。夏バテやサシバエなどにより、何度もピンチにみまわれましたが、出荷することができました。今まで景光と触れ合ってくださり、ありがとうございました。



三年二組 永岡 真優

今年度は、新型コロナウイルスの影響により例年通りの農業の実習を進められない中、課題研究では、地元の小学校との初のリモート交流や、三和技術コンサルタント様のドローンを活用した活動をしてきました。コロナ禍ですが、農業を通して地元の方を笑顔にできて本当に良かったです。



飛躍 農・工・商

三年三組 井上 斗弥

数名ずつに分かれて班を作り、そのグループで課題を設定、解決に向けた取り組みを行う課題研究という授業において、私は焼き印製作を選択しました。今年度は村山地区の七市七町の市町名の焼き印を製作することになり、CADAMを利用した市町名を金属に切削するためのプログラム製作や、材料の切断、焼き印と持ち手をつなぐネジ切り等の加工を施して完成させました。さらに県議会議員の菊池大二郎先生よりアドバイスを受け、「県章」と「さてける君」の製作も行い、県知事に直接贈呈することも行いました。様々な方と接する中でモノづくりの大切さを改めて知ることができ、大変有意義な学習を行うことができました。



に出場しました。速度制御やバッテリーの耐久性など、試行錯誤しながら仲間と製作に取り組みました。大会は「つくばサーキット」で開催され、大学生や企業チームなど合わせて十九台が出場しました。私たちのカートは十二位、学生チームの中では四位という結果でした。この研究を通じて電気自動車の知識やものづくりの重要性を学ぶことができました。指導してくださった先生方、大変ありがとうございました。



三年四組 柳沢 翔翼

私たちは課題研究で電気自動車の研究に取り組み、二〇二〇全日本電気自動車グランプリミニカートレース大会

三年五組 笹原 優希

私たちは流通ビジネス科は、広告と販売促進の授業で、学校のブランドマークも製作しました。製作する為に、基礎を学ぶところから始め、皆さんに教わったことを活かすことができました。ブランドマークを製作するにあたり、ご指導してくださった先生方に心より感謝申し上げます。



三年間の思い出

三年一組 伊藤 駿佑

長いと感じた三年間もあっという間に過ぎ、クラスマッチ、村産祭、修学旅行とたくさん楽しい思い出をクラスのみんなで作ることができました。

私のクラスは男女ともに元気で仲が良く常に笑い合っているようなクラスで、静かな時間なんて無いんじゃないかと思うほど元気なクラスです。そんなクラスがいつしか楽しくなり、僕自身もみんなの会話に参加し話をするのはとても気持ち良かったです。



これからは一人一人がそれぞれ別の道を進みますが、この学校での思い出を宝物として進んでいきます。これまで関わってくれた全ての人に「ありがとう。」

三年二組 村田 耶々
個性豊かなメンバーが揃う

二組。毎日がとても賑やかでした。賑やかすぎて、怒られることもしばしば……。

けれど、やる時はやるのが二組。課題研究や進路実現のために一人ひとりが熱心に取り組んできました。そんな真面目な所も三年間で磨かれてきたと思います。



三年間、沢山泣いて、笑ってかけがえない時間を過ごしました。本当にありがとう。一人一人の将来の活躍を願っています。そして片桐先生、関わって下さった全ての先生方、本当にありがとうございました。

「精励格動」

三年三組 保科 周馬

私にとってこの三年間は、あつという間でした。新しい仲間との出会いに不安を抱きながら始まった高校生活。クラスの人たちは一人一人の個性が強く、いつも賑やかな雰囲気でした。三年生のクラスマッチでは六種目中四種目で優勝し、念願の総合優勝も果

たしました。

進路活動も、各自が将来のためにと気持ちを切り替え真剣に学んでおり、このように気持ちをしつかりと切り替えられる所が、このクラスの良い所だと思います。このメンバーで三年間過ごすことができて、とても幸せでした。



三年四組 海老名 俊輔

三年間の学校生活はとても短く感じました。振り返ってみると色々なことがありました。クラスマッチや文化祭で協力し合い笑い合って、様々なことを共有できました。また、担任の大場先生をはじめとする先生方には感謝してもしきれません。授業はもちろん、私たちに進路指導を熱心にかけてくださったおかげでクラ



ス全員の進路が決定しました。クラスのみなさん、高校卒業後の進路は一人ひとり違いますが、このメンバーで過ごした三年間はいつまでも宝物です。また出会える機会があればみなで笑えますように。

三年五組 柴崎 美悠

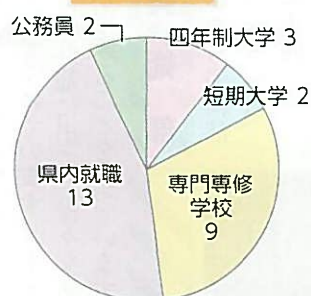
私にとって三年五組のみんなと過ごした三年間はとてもあつという間の日々でした。私たちのクラスは個性豊かで、毎日笑いが絶えない楽しいクラスでした。常に誰かが笑っていて、それにつられて誰かも笑うような「笑顔」という言葉が似合うクラスです。すごく賑やかで楽しいクラスですが、遊ぶ時は遊ぶ、勉強するときは勉強するなどメリハリを持って行動することができるのが五組の良いところです。

最後に五組で過ごした日々はずっと宝物です。五組のみんな、そして兼子先生、中里先生、出逢えて良かったです。ありがとう。



進路状況

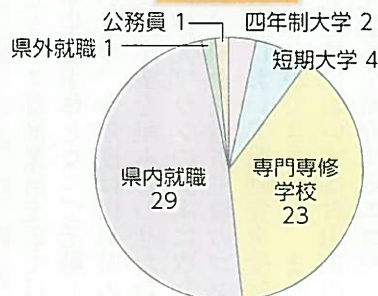
商業科



工業科



農業科



部活動紹介【文化部編】

家庭部

今年度はコロナウイルス感染症予防のため、学校祭でのお菓子販売や調理実習ができなかった一年となりました。活動制限がある中で、技術検定にチャレンジしたり、個人製作を楽しみ作品展を開催できたりしたことはうれしかったです。

又新連部

又新連部は徳内まつりや様々なイベントに参加させていただき、より迫力のある徳内囃子の演舞を披露出来るよう日々の練習に取り組んでいます。また、今年度の県高校総合文化祭（郷土芸能部門）において、総合文化祭賞（最優秀）を獲得し、令和3年度全国大会出場の権利を獲得しました。



吹奏楽部

聴いていただく方により一体感のある演奏ができるよう、日々の基礎練習や曲練習に励んでいます。少数ですが一人一人が日々頑張っています。これからの目標としては「県大会出場」に向けて、よりよい音を目指して日々の練習を心掛けていきます。



工業部・機械班

一年生と二、三年生に分かれて活動しています。一年生は今年山新主催のロボットコンテストに出場し、見事第二位に入賞しました。二年生は「自動車廃品を利用した階段掃除ロボットの製作」で、サイエンスキャッスルTHKの敢闘賞を受賞しました。コロナの影響で、風力発電コンテストやものづくりフェスタが中止となり、いつもの活動はできませんでしたが、足踏み式消毒スタンドの製作や山形環境展出品などの新しい活動も行いうことができました。



茶道部

茶道部は講師の先生方のご指導の下、茶道の基本的な作法はもちろん、稽古を通して生きていく上で大切な礼儀作法を身につけることができました。今年度は様々な茶会が中止になってしまいましたが、思いではありますが、おもてなしの心と感謝の心を忘れずに日頃の稽古を大切に活動に励んでいきたいと思っています。

書道部

私たち書道部は、先生から配布された課題を展覧会に出展し受賞することを目指して日々の練習を頑張っています。お互いに高め合いながら、一人一人がよりよい作品を書けるように皆で楽しく全力で精進していきたいです。



農業部・グリーンライフ班

今年は、コロナの影響であまり活動ができませんでした。しかし木材加工や木工品の製作など少しでしたが活動ができてよかったです。今後は、これまで学んできたことを進路に活かし頑張っていきたいです。

工業部・電子班

三年生が取り組んでいる風車の研究成果が、パテントコンテストで優秀賞をいただき、特許出願できるようにしました。一年生が取り組んでいるマイコンカー、3DCAD、マインドストームEV3も、それぞれの大会やコンテストに出場し活動しています。

農業部・農産技術班

農産技術班の主な活動は家畜への給餌や野菜栽培、加工品作りです。自分たちで栽培した野菜はそのまま加工品にして販売します。もちろん自分たちで食べたりもします。暑い日に畑で作業するなど大変なこともあります。皆で協力して活動しています。動物物の成長にやりがいを感じて楽しい部活動です。

農業部・バイテク班

私たちのチームでは、サトイモや植物共生微生物などを研究テーマとして、日々の活動を実施しています。今年は、コロナ禍であり、研究発表などで県外に行くことはできませんでしたが、オンライン大会に参加し、日々の研究成果を発表し、さら

美術部

にレベルアップできるようにアドバイスを受けています。来年度は、外部に出て、様々な活動ができることを願っています。



ビジネス部・商業研究班

ビジネス部商業研究班では一年生が主体となって活動しています。今年度は山形県の観光と産業を組み合わせた新しい観光プランの立案に取り組む、国土交通省主催のコンテストにおいて奨励賞を受賞することができました。また、研究活動においては村山市の観光名所を紹介するエコバックの作成を行い、試作を行い、来年度製品化に向けて研究を続けています。

